



らるる事なるは主鬻る所存の分り
書出して可き申付るは多岐なる大概は
各々が所意に相お付たりとて則合
張せし畢極る文字遣と官事親行の抄
出是監觸やの行阿思業すは權者の
製他として其名乃極草の字と伊呂波り
編りて文字の教すべしといひを
の五へ同漢のわけしとありぬ各別の需用

は流るる溜と極あるは書漏らし
を極事としてあれは他の流るる
かある極て極家のいあはすは又
かわらじうぬの字あはしとて
その畢と極にかはなは極親行の
よよじうのよよまぬいふはたあ
よよまぬいふと事分て極とと極の
相あはるとして極すは

幼子孫未以勤勤可乎

姓名文字遺目録

一 牙 小 戎 七 幸 緒

三 江 緣 衣 專 枝 得 柄

五 八 經 邊 返 遍 人

七 八 伊 已 夷 意 吳 以 怡

九 江 浦 保 帆 補 卅 南 蒼 暮

十 月 瑞 葉 半 半 願 八 幸 冬 節

十二 宇 羽 胡 有 羽 胡 得

二 托

四 名

六 心

八 力

十 力

十二 心

十四 心

加 於 尾 焉

雄 醉 衛 會

湯 素 惠 畫

營 惠 畫

元 死 日 北 然

苑 獸 比 避 肥

井 居 遠 為 秀

威 園 遺 渭 倭

王 王 和 倭

獨 往 活 倭

武 无 云 世

無 疾 年 養

布 奴 婦

府 不 風

壽 布 不 風

昭和十六年一月十一日寄
尼野實英氏贈

一端ハ 中ハ 奥ハ
 一端イ 中ニ 奥ヒ
 一端ハ 中エ 奥ニ
 一家辨得二人凡秘抄

一を緒成きいそや

なまがへ 女郎花倍々

よふのまゝ 鬼志洋草
万葉二見

よとろ 赤白木套赤
カラタチ

よとろ 棘同藤

よとろ 祢野の晩縮

よとろ 紫壳

わとろ 防己

よとろ 芭蕉葉

よとろ 花の柳
玉小柳

よとろ 崗羊

よとろ 懐香

よとろ 小藤

よとろ 麻志

よとろ 於朝海漢

よとろ 陽和塵
まき信用

よとろ 菓葉葛

よとろ 柳又催馬

よとろ 古今集
只リ

さうらうまほ

雷下物

あふさぎ枝打

花下物

あやうり 蟬娟 窃窈

あふさぎ 花下物

はらり 九折盤折

みよし 櫻標 万葉

よひ風 逆風

置露 湯とえ

よきあふ 小止雨

置指 鷹号

なう 岳立 困陵

小山田

よこあま もね山

小倉山

なすし 隠暗

小塩山

いさよ 小野山

遠望 小野

ならふ 小栗栖

おとあ 丹音平

よき身 屯岩

小忌浦

なす なすの浦

おとあ 押照

よきか 真中川

言無門

よきり 緒後揚

玉緒 今名

あふ 緒琴

通緒 高

よき 各

男

あふ 賤男

伊勢男 仙郎

あふ 男子

益雄 建男

あふ 益雄

賤小年

かろし 阿比の

支

心

くら

三

伯父内戚阿伯
弁父外戚

とひ

甥姪男

かろし

阿比の阿比

弟

かろし 伯母内戚
姨母姨

とんぶ女

とんぶ

阿比の阿比

子

かろし やり

年弱女 万傳
婦徳も万婦人

とんぶ人

侍従

かろし 人

勤切人 万
婦切人 万

とんぶ人

痛症

かろし 己

己

とんぶ

己之

かろし 己

九位下主

源氏物語に在

かろし 恐怖畏

阿比の阿比

世侵

源氏に在

かろし 操作

とんぶ

自

かろし 不図不終

とんぶ

思意

かろし 行

とんぶ

後終

かろし 行

とんぶ

怠懈慵

かろし 矜奢驕

とんぶ

送贈遺

かろし 窮屈類

とんぶ

戰音怖惶怒

かろし 作扇

とんぶ

踊躍

かろし 奢驕侈

とんぶ

藝

かろし 麗魔

とんぶ

劫排

かろし 陽

とんぶ

威疎

かろし 儼道儼寧

とんぶ

鬼

ひと

水臭

ちろいと

鉤臭

白臭

なす

飯臭

ひと

鱒燈

鱒ヒラムシ
釣ぎタタ

とひ

蓋覆

とり物

綺

とひ

小忌夜 床人

か細

直衣

おひの衣

襦袢

はげのどく 黄柳小櫛

とひ

鷓尾 車具
小轆

とくふゆ 小車

なす

艇 小舟

とり 鏝留鎮

とひ おひの
おひ

重帷 まじ

とらり物 はらり物

なす

印 判

とろえ え 秘鉞柄

なす

打敷

と幾 爐火也

とひ

爐 タキタ
ヤ

なす す 真炭

ひ た のひ

背膾

とろひと 膾

お お のひ

飯

とりの飯

な お のひ

鴨

とりの鴨 鴨 鴨呼

こ お のひ

小桶

とひ 把

暁 お のひ

暁起

み お のひ 山おりの 漆山下風

か お のひ

瀉保浪

か お のひ 真 タキ
タ 倒

わ お のひ

隔泥

た お のひ 高砂小江

ゆ お のひ

同遠衣

わ お のひ 相生

とめさ 押明方

とくへて 押作

とろろりあり 珠

とろろりの 斃 下スル

なごのぬき

なごのぬき 頂

とよひ 指

とよひのぬき 素盞尊

とろこせら 小野新

とろこせらの 九河内新

とろつら 織部司

とろつらの 織部

からとん 勝臣 古今集 作者

からとんの 遠江國

とろりのふ 尾張國

とろりのふ 思澤

とろりのふ 隠岐國

とろりのふ 安徳

とろりのふ

とろりのふ 十拾

とろりのふ 播磨垣面

とろりのふ

二木尾 おたけお也

おたけお也 空屋

おたけお也 山奥

おたけお也 奥山

おたけお也 大江山

おたけお也 志摩山

おたけお也 志尾山

おたけお也 水尾水、ミラ水尾

おたけお也 水深水、水之水池

おたけお也 風流、風の山、下風

おたけお也 大内山 禁裏、名

おたけお也 男山

おたけお也 日尾山 大嘗會、作、流山、夏

おたけお也 尾上

ひとあし一葉の一尾

あつらふえ 溟渤大海

ねあつらふえ 生浦

ねあつらふえ 魚万葉集 池玉篇廣瀨

ねあつらふえ 息川之巻

ねあつらふえの清水 勝清水 妙水

ねあつらふえの清水 其面瀧

ねあつらふえの清水 其面瀧 落を流とあつらふえとたふらふ

ねあつらふえの清水 胡麻

ねあつらふえの清水 海葉

ねあつらふえの清水 解行

ねあつらふえの清水 車草

ねあつらふえの清水 萬草

ねあつらふえの清水 白頭公死

ねあつらふえの清水 陸牧屋

ねあつらふえの清水 芦蓬

ねあつらふえの清水 生草生長

ねあつらふえの清水 狼狄

ねあつらふえの清水 敷史記席日本記

あつらふえの清水 老雷杜

あつらふえの清水 森 邑樂杜 上野名也

あつらふえの清水 魚津浪 納き廣き

あつらふえの清水 大堰川 大井川

あつらふえの清水 大淀波

あつらふえの清水 洪水

あつらふえの清水 岩さうり

あつらふえの清水 岩さうり

あつらふえの清水 麻草

あつらふえの清水 胡蘆

あつらふえの清水 萩葉 濱萩

あつらふえの清水 思草 蕨大根 菖菜

あつらふえの清水 澤酒

あつらふえの清水 茶 才ホト子 女界 花色白

あつらふえの清水 蕙草 小死 美花尾死

あつらふえの清水 生 草木之

あつらふえの清水 麩 大席

あつらふえの清水 縷 老繫 冠

あつらふえの清水 帯 紳

名所あり 名員ハ去来云同 伊豫地流ニ在

右也のしりしりあひありの日 引打日

かふるるぬ 鳴呼 伊豫地流ニ 推押折

くくあふ サカニエラヒ 縁 ソノカフ心 以爲

あふあふ サカニエラヒ 虞慮 惟以

あひあひ サカニエラヒ 想像 想起

あふあひ 襟畏 思憶 想 筋

あふあふ 思食 一 作 課 役

あふあふ 阿耨起心 阿耨起心 趣赴

あふあふ 世覆掩蓋 同上

あふあふ 行 負物

あふあふ 洶 游泳遊

あふあふ 忌懼棟惶競 敢 典刑面款化

あふあふ 威鬼畏 賤 落魄潦倒

あふあふ 零落 覓省

あふあふ 義 祝 鞅

あふあふ 下 踏 常 佩

あふあふ 治世浄号 聖 修 理 叔 納 樞

あふあふ 志 年

あふあふ 一 眼 日 優 日本記 轉了月通事同上

禁制日長 日軌制日治日 巳上才サくシヤ

心いそくことわあやっがり 高族

わあしゆり 高碧滄

わよほ 鬼

わしこ 狂男 鏡

雲ありのり 雲下

あいて 負

わめん 津

わいあひ 相生

わいあひ 相生

わいあひ 相生

なまのあひ 高砂尾上

わよあひ 不及

わよあひ 不及

わよあひ 不及

わいあひ 老人

わいあひ 老人

わいあひ 老人

わいあひ 老人

あしあし 以頭梳

わいあひ 叟翁

わいあひ 怖畏

あしあし 賤男

あしあし 重

あしあし 水面

あしあし 下衆

あしあし 雪干

あしあし 飯炊

あしあし 随分

あしあし 面黧

あしあし 憶

あしあし 密夫

あしあし 同上

あしあし 老邊

あしあし 稚人

あしあし 乱髪

侍者文集侍醫
著内記局名

稚人少日
切ササナシ神
乱髪 千金方

そらうがら山人新負山人

おんこい 顯

おんこい 晴婦

おんこい 親子父子

おんこい 公

おんこい 直衣姿

おんこい 大臣

おんこい 太政大臣が

おんこい 馬場殿

おんこい 大炊寮

おんこい 陰陽寮

おんこい 里骨文集

おんこい 居立田子

おんこい 大炊御門

おんこい 大隅國

おんこい 音勢

おんこい 大和堂

おんこい 箕面寺

おんこい 大神氏

おんこい 姪名 老女名

おんこい 祖母 伯母 妯娌

おんこい 長女 見立御記

おんこい 兄弟

おんこい 人玉 玉天皇

おんこい 小大馬 後拾遺

おんこい 大臣殿

おんこい 大臣 日本記

おんこい 夜殿

おんこい 大舎人寮

おんこい 物のおさ 監物局

おんこい ちてのたぢ 四重田長 四年田長万系

おんこい ありぬの門 院法皇 院

おんこい たりり 津路 日本記

おんこい ちんてさ 怨敵

おんこい ちんてさ 擁護

おんこい ちんてさ 勝尾寺

おんこい ちんてさ 大直吐寺 神樂曲古今集

おんこい ちんてさ 真教起作

たかきぎ 鷲

たかきぎ

鷲

凡河原も 直下

三江江 冬枝縁衣 えし

たけい やま 大江山

ひえの山

比叡山

をささのり 渚杉楊

えき

榎並

みりのえの浦 浦崎子木

一変百葉并後撰在

きくらち 河口

かふたに

龍波江

けりえ 堀江

月の入え

三野入江

夜りのむえの

舟玉に声

たけのえの山 薬圃

たかのうのり

心生浦行枝

えきふきのうもさよ 取や 呼吹 高上 徳國 名西

ひらえ

梅枝 催馬樂 弁原氏物

きくらち

立枝

たけえ

沈枝 ねりの

かつえ

其末 万葉 會死枝

たけえ

古枝

すくらち

榎

たけえ

小枝

其末のえの 枝際 柯あふる

たけえ

榎

いええ

薬藤

たけえ

葛方 ハニテ

たけえの本

栢木

たけえ

五根松五葉

えかきぬ

艶

たけえ

得不知

えくらち

吹

たけえ

後

かえ

吹

えのりわらひ縁

あさうえとく随

らんえがう 薰衣香

そひえ 淨

あんとらん 炎天

くろろく

あいのゆき 紫の夕景

あいのえん 紫の雲 源氏物語

えやとらさ 龍膽 花名

えのあや 蒲南 荏油脂

ひえ 蕨

えのさか 雀鯛小鷹

ぬえ 豚臭

えひ 海老

あらい 櫻冠具

うえ 笛

あやうのわえ 篋

はえのほ 杖

あつえ 横首杖

えのあか

なまじり 弱

あまのあまのこら 砂小江

えのえん 榎葉井

あいのえん 折江

あいのえん 葉あけの葉

あいのえん 草前

えんえん 後真 園豆 豌豆

あいのえん 茨

あいのえん 蕨

あいのえん 鴨

あいのえん 吃身

あいのえん 鱒鱒臭

あいのえん 榮螺子

あいのえん 烏帽子

あいのえん 高麗笛

あいのえん 文札 札葉 あつてのあつての葉

あいのえん 卯杖

あいのえん 罇田 罇

をみくえ

柯柄鉞斧

ひさみえ

杓柄瓢

響

柄響

たぐえ

轆輓車

えあり

枳

いしくわ

燼

えひう

高衣被香

かえう

荷葉友

薰物

えん

燕脂綠色具

りくま

崩黃

すくえり

宿臞師

せそ

夷槐

えひと

停因匈奴蝦夷南蠻小狄夷狄西戎

東夷

えんあ

く假優婆塞えんあ

瘡病

えれ

胞胞衣

のええ

吃結喉吃

わ

蹇

わくく

蹇跛

あえ

肥滿

ええ

消消日

あえて

越超踰

わくく

覺省

あいて

見覽歷看觀視園披

あいて

因聽

わくく

あいて

心得意獲

あいて

獲

あいて

凍冴寒

あいて

寒凍

あいて

冷終

あいて

冷物

思ひ

思思

あいて

無見

日本記
終云葉

あいて

敢不玄敢日本記

くわえと 不心得

えいこえ 源氏物語有

えふふいふ 酔酒

さるてのはまのり 杖打夜

わえかこふ 云益

えんかふ心ちり 艶源氏物語

こふええ

ゆえゆき 紫約

わえうあり かえびりひらふ

わえうりあ

けいえ 貴弊

ききく 養

こいこり 波土

えいふ 選撰勅撰

えいふいふ 歌集

ゆえ 伎文儒

えんえんえん 金葉集

さくくえんえん 玉葉集

えんえんえん 七曜星

えいこい 水驛

えいこい 嬰孩

えいこい 英耀

せいこい 道遠

えいこい 蜀飛 ミヤとヤカ

えいこい 要須

えいこい 偃息

えんえんえん 厭却

えいこい 夜文

えんえんえん 掲聖 イナニシ

えいこい 演説

いこい 死權 カ

えいこい 延暦寺

ゆえのこい 道祖神 ミヤとヤカ

えいこい 丙丁

えんえんえん 夷千鶴

えいこい 間浮提

えんえんえん 梅諸兄 古大臣

四也惠

及海東會營 びんこ

とすも

梢

しん

標木末之末
抄木末

ゆも

行末 向後

ひん

同上

もやすも

中末季

あひ

綵發 粟

あじ

笑嘆

清ぬき

醉洗 倒

とん

勢ノ喜

あし

臙

あえりり

肥

清ふ

衛府官

あゝのたぐい

清土焼火

あゝのたぐい

東清門 糸府

こゝれたぐい

源氏物語 三
由清府被官

あゝのたぐい

飼袋鷹

あゝにん

肥

清のこゝれ

狗獾

わが馬のせり

日馬 今
二月七日

あゝのたぐい

二月十六日

あゝのたぐい

大嘗會

あゝのたぐい

あゝのたぐい

恒下社

位下 奉坐恒居

あゝのたぐい

柱礎

あゝのたぐい

陶 陶器

あゝのたぐい

馬 草也

あゝのたぐい

醜 醜

あゝのたぐい

半夏 草 惠 具 万
女 姜 乳 照 一 洗

あゝのたぐい

槐

あゝのたぐい

杖

あゝのたぐい

木 榎子

あゝのたぐい

歌 一 本 雉

あゝのたぐい

繪 畫

あゝのたぐい

冊 も 法 文 集

あゝのたぐい

畫

あゝのたぐい

寒 万 葉

あゝのたぐい

映 日

ゆれあへり

忍

すあのみ山末松山

あしゆ

江崎繪清

あしゆの地決

榮花地決十帖
赤深物門作

らうあ

和漢朗詠集
四條大綱云云結作

すあはむ花

赤深物門作
未摘花源氏
物決云云アリ

ゆめくあえは

書案

あはむ花

まあいあ

玫瑰中

あはむ

衣服

らあ

智恵

あはむ

穢 産觸

あしゆ

烏帽子

あしゆ

誘

あしゆ

朝繪

あしゆ

懐敗

あしやく

會尺

あしゆ

會尺

あしち

幼雅

あしち

榮耀

あしち

祿一奇

あしちのち さき 道祖神

あしち

越後

あしち

越中

あしち

越前

あしちのち さき 惠慶法師

あしち さき 俊惠法師

五へ人 ホツナリ 邊 返 遍 経 部

あしちの山 後山

あしち

栢柴

あしちの山 八重櫻

あしちの山 八重櫻

あしちの山 千尋草 玉葛

こころへ 後

こころのほのめ物 宿直物

こころのほのめ物 愈茶

こころのほのめ物 袍袂表衣

こころのほのめ物 敷妙枕

わくわく 喘息咳嘔

わくわく 廢

わくわく 敢

わくわく 久婦

わくわく 返事

わくわく 覆倒

わくわく 賽

わくわく 九重

わくわく 去珍方

わくわく 濕露濡 潤

わくわく 慈憂患 阿

わくわく 饑

わくわく 醉

わくわく 不堪

わくわく 云言

こころへ 後重

こころのほのめ物 三人女毛布

こころのほのめ物 單衣

こころのほのめ物 筥 捕負

わくわく 鼎

わくわく 喘

わくわく 敢

わくわく 不取敢

わくわく 返

わくわく 顧顧

わくわく 蕪活

わくわく 耕田

わくわく 偏

わくわく 者

わくわく 教訓

わくわく 飢

わくわく 飢極

わくわく 堪任患 耐

わくわく 雖

わくわく 韎韐

まへし海 前後

あひら 後

わらふえ 割贖

ひげふえのり 割副見

このゆへ 所由来

そぢえ 饒

いけえ 牲

わらふえのり 荒和後

わらふえのり 婦上尼上

ひげのり 祖ノ口ウ伊勢

みどりまき 夫婦 日本記

小ぢえ 句

あぢえ 白妙

こゑ 榮絶光見

きえ 譬言喻興縦

とへえ 同訊

いへえ 唯

うらえ 打堪

ちりえ 振延 延月

あひらてしえり 西傳

あひらてしえり 冤尻

あひらてしえり 明日副

あひらてしえり 事故編故

あひらてしえり 鎮

あひらてしえり 執貝

あひらてしえり 六月後 荒和後

あひらてしえり 六月廿月晦日在之 後禰

あひらてしえり 膚

あひらてしえり 思念憶惟以

あひらてしえり 傍冷側一

あひらてしえり 榮富

あひらてしえり 夕榮夕光

あひらてしえり 諸意見 日本記

あひらてしえり 辨

あひらてしえり 答對應

あひらてしえり 取奉杖打度 万載

あひらてしえり 斬負山人

あひらてしえり 打緒振日

あひらてしえり 市川延 曝

あひらてしえり 俗偶 源氏物語

あはれ 官仕宦

はら 仕

うへて 祈

あはれ 酒給

うへて 噬

やあ 唱

うへて 色交線

あはれ 甘辛 苦

うへて 与天工

あはれ 准

うへて 添副備進

あはれ 傳施

うへて 港

あはれ 准擬

うへて 湛水

あはれ 貯資蓄

うへて 類彙属比

あはれ 兄弟部

うへて 馬居

あはれ 日新臣

六の飛心 け比日大悲北鄙

よりのり 流星 奔星 いよりの月 不知秋月

あはれ 待宵色 夕のあひ 晚鐘 黄昏

あはれ 海生 三月 山のあひ 山峡 西山 向

あはれ 浪 浪 葵

あはれ 密 芥冬草

あはれ 葦草 草 小のあひ 結

あはれ 特牛 寫 志 志

くろくろひ 麁蕩

あひこく 鯉鮎

くろくろひ 貝錦

かひくろく 貝柄

かひこく 爾蠻 蠶

あかろく 漢の服 胡錄

あかろく 織遊

あかろく 籬

あかろく 灰

あかろく 翔鳥

あかろく 鮑 鮑 厚 文明

かひ 貝

かひかひ 貝西後

あかろく 鎧 録 鉀 甲 胃

あかろく 人遠 新裝束

あかろく 習 延次見世房

あかろく 掃 墨

あかろく 盥 水 海 盥 手洗 浴用

あかろく 平巾

あかろく 損

あかろく 篩

あかろく 食

あかろく 炸飯

あかろく 蒸飯

あかろく 續飯

あかろく 高 高賣

あかろく 婿 婿 夜 這

あかろく 魄 魄 神

あかろく 漱

あかろく 捨 筍

あかろく 兄 才

あかろく 乾物

あかろく 剋

あかろく 強飯

あかろく 簞 食 饋

あかろく 價 直

あかろく 鈴

あかろく 合 交 史 婦

うみうみの 盲

みしひ 聾

ひらひらひら

額 年預人日本記

ひらひら

時 字平上

神ひ人

酒人本云む人

おひら

伶人舞人

まひ人

他人

まひ人

伶人舞人

人のまひ

氣 日本記

まひ

初言

あつらひ

癡狂

あつらひ

侍候

けいひ

使

けいひ

典馬 安瀨云

りひ

姪

りひ

妯娌姑

ひらひら

當腹

ひらひら

養子 けい子

かきひて

習效

かきひて

准擬

りらひて

用庸

りらひて

敬

移らひて

願希樂莫 慕

すくひて

濟救

まじりひて

禁呪

ひろひて

拾

くひて

悔

あつらひて

争

うけらひて

移一任衰

うけらひて

本定徒月也色一

わひく

逢會遇合并 併遭值相違

そひく

添備副

あつらひて

随肩 泛順

あつらひて

道行

とつらひて

防吊

とつらひて

解說脱釋

まひて た

酔酒

まひて

問訊

くひて

喰食舗

わらうひく

味

ちひて

誓言盟

ちひて

遠違

あひて

同上

あひて

蛇轉

ゆひて

迷惑

まひ

行洛漣

たひて

漂漭

たひて

戦國淨念八

あひて

震奮揮劔

うひて

疑媿

うひて

失喪

おひて

販

わひて

洗濯浣滌

かひて

語談話謂

まひて

類比彙

おひて

荷搭

あひて

肩能

あひて

相撲

あひて

病疴瘦疾

いひて

祝榮榮補

あひて

活番

あひて

競

あひて

境畷

たひて

假令假假使

あひて

勢威

おひて

句

あひて

活

あひて

料理補

あひて

霑同

あひて

基

あひて

通遠平

あひて

災禍殃

あひて

煩累

あひて

熱

あひて

あひて

あひて

中活長活

あひて

支

あひて

通活

よひを

追凡通内

よひて

於

あつたひ

賄賂

あつらひ

糸日本紀

とつひ

蓋

わひとひ

お生

たつひて

給

とつかひ

行

ひかひ

叶

さふひ

去悪

まふひく

慕

あふひ

今宵

すまひのい

栖居

いふひ

狀

わひのいて

愛

わらふひ

紫陽草

ひふひ

向

あひく

生テ

あふひ

潔

くたひ

宮内

かひく

泣

まふひて

續紛

あふひ

一昨日

ころあひ

比黎

うあひ

密髪

あひ

憲

あひ縁よ

廣美希憲

まひつろ

遠波

あひ

謂

おひの

思念憶想

あひ

間際頂ケ園

たひつろ

平夷相一途

あひ日本純

無為アキキ

あひか

三甲装

あひ

小妙

まひつろ

副卧

まゐじいひのくさむね終其報に剛謝嘯償

さくらり乾らりひひるん橋乾散遠陸 古今集ニリ

おろしすさひひひり 可嘆荒海全陸云風吹荒
毛方云 深成物語ニリ

てすさひ 牛鏡 まやひ 媚風姿

福ひひるお 嬖妬 ひひひと 後申

うさひひと 窺中伺候 ひひと 馬食 甲斐國在
万葉

七い伊以 七夷意 異矣

ららら 雷 ららら 同上

いひひり 電 いひひり 牽牛

いひひり 不知歷 窟 いひひり 能但浪

伊い 般石 いひひり 石

いそ 磯 細石 礪 いひひり 沙砂

あしとふい 紅梅 いひひり 浜塗

らりののぞ 栗刺 棟大鏡ニ いひひり 榎木 からす

いひひり 額栗 ニタイクリ いひひり 平栗

いひひり 藪 海草 いひひり 稚海草 海草

いひひり 同上 いひひり 芋子

二八

いりく

蕨

やまのり

薯蕷

いらひ

苧象

あふえ

大蓼
大蓼

あふ

初母

いりく

蠶

いりく

江豚
鮪

いりく

臭丁

いりく

臭

いりく

海風

いりく

文蛤

いりく

鵲

いりく

鶴

いりく

舟

いりく

持牛

いりく

腎

いりく

兎

いりく

兎

いりく

鳴馬

いりく

戌方

いりく

同上

いりく

羊躰

いりく

覆盆子

いりく

虎杖

いりく

荊芥

いりく

鱗

いりく

鯉

いりく

臭

いりく

筍

いりく

貽貝

いりく

鵲

いりく

稻負鳥

いりく

水鳥

いりく

雀

いりく

鼠

いりく

犀

いりく

犬

いりく

乾

いりく

鳴馬

いりく

嗥

ついで

頂令

ついで

巔山

ひびき

額

ひびき

雲胎

いかに

膺

いかに

鳥養

りいり

小子

りいり

逸人教寄

今にして

窮鬼

今にして

敏古人

いささ

嬰

いささ

犧牲

いささ

嬰飲炊

いささ

糞物

いささ

條楚刻

いささ

索餅

いささ

醴酒

いささ

家宅舍齋

いささ

西對

いささ

對屋

いささ

柱礎

いささ

檜中定

いささ

柁

いささ

瑞籬中定

いささ

築塙

いささ

築池

いささ

屏屏風

いささ

透垣

いささ

視其和屏史記

いささ

類中定

いささ

綵

いささ

搖練船色

いささ

纓冠具

いささ

新新像

いささ

天蓋

いささ

磬臺

いささ

題中定

いささ

疎鞋

ワ 羊子

倚子

かひ

靠倚 まかひ

い あり

圍炉裏

かひあ

焙爐

ま い

太鼓

いさあ

腫腺 史記

ふ

棹舟

あいのり

磁 磁鑄 鑄心

い い

笈椀

い

酒海

ま い

獲樽

あま

水精

ふ い

如意珠

あま

水晶

ま い

水干

あ

落帯 琵琶

た い

續松 松明

あま 上は浮物有

株

か い

杭

あ

倭子

ら い

礼紙 状

あ

礼堂 金堂 赤堂

ら い

礼盤 礼飯度

あ

敷板

あ い

纏馬

あ

衝重 葉重

あ い

切板 俎

あ

筵

あ い

檜背

あ

平題 夫

あ い あまのりくけいとのりくけいあまのりくけいあまのりくけい

家子 照任 浮物 活

あ い 芳根 拙論 語文集 常損 夫子 傳

榮 酢 灌 生 燈

あ い

簞 雙六

あ

檜 樞

あ い 物

粉 經 三言

あ

御 淨

まじりぬふ 於區耐遊仙塵
源氏物語

かた まじりぬふ大臣

いんく 負外

さいふ 再拜

あし 苟

ふい 不知

いさ いさふら かそ 引唱流引

な 夢如

い 忽渚

早晩

い 率心

い 可畏

か 去中意

神 不名如

了 致

い 維寢

い 條月明行

い 行

か 媚竊

け 枕付

い 頓

か 乃至

あ 凌

あ 鄙陋賤野

い 否不

い 誘引言向

い 不審 文集云
未審

い 未食火 万葉
渙火之烟 火日本記

い 何為

い 氣調

い 率

い 至

い 至

い 翔日

い 只暫 古今并六帖
亦有三有

い 強類 強類
強類

い 被用

い 次

すそ

透篇や

すそ

吸吮

すそ

源氏

すそ

翠

さし

山曾

さし

初冠叙爵

さし

殿上待臣名封

さし

下家目

さし

伶人樂人

さし

院目

さし

醫者

さし

執負

さし

中御門

さし

さし

階下

さし

さし

加階

さし

さし

御製

帝王

さし

緩急

さし

諱諡

さし

代官

さし

封禪

さし

右強有職

さし

探題

さし

災難

さし

大災

さし

岳迹

さし

瑞相

さし

嬰孩

さし

榮耀

さし

朝廷

さし

榮煇

さし

性

さし

榮煇

まきむい 境象

えいてん 映徹

てい 神體

あいつ 詠

いりか 優

いりか 岩清水

いかり 稻荷

いかり 道祖神

いのち 魑守宅神

いのち 崇神とて

いりよ 祝

いりよ 岩瀬森

いさの松 生松原

いさの浦 生田浦

いさのうら 吹飯浦

いさのぬ 伊香保沼

いすく 不手鈴門

いすく 不手武門

いりか 潰小門

いりか 潰水

いさやま 伊吹山

いさやま 生駒山

いさやま 大臣

いさやま 大臣

いさやま 大臣殿

いさやま 尚侍典侍

いさやま 優婆夷

いさやま 齋院

いさやま 道念法師

いさやま 更衣 右の准之別 殿三居スルに 遣義帝の 時ヨリ始

いさやま 更衣 小わはる

いさやま 妹

いさやま 素性法師

いさやま 父母

いさやま 妹

いさやま 再遣父兄分

いさやま 母

いさやま 姉

いさやま 父兄分

いさやま 姉

わいび

姪

あつた物がらう宗死抽泣

さし

妻子

ていじん

帝乾

あいつらん

待賢門

こらうらんといふ硯水

いあひり

電

八のろ井遠秀

くろ井

雲居

くしわ

田為子 為寺

わくさ

菴

草

わわい

澱

わわ

藍

わわい

牛膝

くろ井

紅

志のしん

推替

さつせい

若草

牙薬

いちわの末

櫟

こわ

鯉鮎

くわの末

馬鬃 松童子

えん井

贖贖

くわ

水鶏 亀毛

わりり

守宮 花在

こわ

木居 鷹木

豚豚

わ

猪猪王知

わのこ

袁兒餅 十月

らぬわ

熊胃

あさくれ

朝餉 冷飯

もろわ

餅

やまわ

胡箴 胡箴

かきわい

餉 飯の事

とのわ

宿直衣

らぬわ

宿直殿居

山わのすん 衣 山笠 摺衣

二つのこころに二重の海 衣袋 此のふ 遂終竟 た

ふのまろく 新枕 ちのてつ 強折

りらわろ 用庸 かまゝのま 怒 あまゝのひた

まけとまめて 酒強 勸酒 かなごのろ 眼盲 一八

りゝの 盲 うのくド 波初 あ

らゝひそひま あ り笑 ねところ 居所

ぬれ 居 ていふふひ お 居侍 真

りゝの 家居 由と井 園晶的居

ぬれ う のめ 尻長取居 ぬれ あ 膝行居 ま

ぬれ あ 断 あ ぬれ あ 痛病 あ

ぬれ あ 胃胸 よあわあ あ 宵曉 あ

ぬれ あ 癩瘡 あ ぬれ あ 錯耳 あ

ぬれ あ ぬれ あ ぬれ あ 女院

ぬれ あ 院司執推勅 あ 院 あ

ぬれ あ 高皇子 あ 又 あ

ぬれ あ 一 あ 位至八位 一八

ぬれ あ 位 くら井 あ 位山

ぬれ あ 井 ぬれ あ 韓

ぬれ あ 井折 ぬれ あ 底井 あ 袖中 あ

山井

山井

とんぼの

常盤井

わさりのわと

縣井戸

とんぼの

玉井

すそくた田の縁梅田井

つりのわ

池城

わさりのわ

死名井

名あり 催馬を在

いさみのわ

田中井

のせこ

堰塩

おのわ

大井川

はくそ田の

筑波田井

うりのわ

吹飯河

わたのう海

井出の氷

われの

猪名野

かまの

中野野

さあの人

酒井貞他志

わたのわ

井の大臣

わりのわん

法下

せいのわ

小井井

後撰 他者

わんくとの負

あつみのわ

猪名野

おのわ

起居里

あつみのわ

口韻詩

わりの

園遠

あつみのわ

苗胤

わりの

委趣意

あつみのわ

糸細

わりの

鶴栖摺

あつみのわ

云乃

あつみの

三井寺

あつみのわ

通入障子

世辰殿のしつゝの七男の中の間の障子の名又も所障子

あつみのわ

舟場

あつみの

香権宮

九段保子帆穂甫

ねがそく 虚空

いそが 巖

あさうが 槿

ゆさうが 夕顔

かうつさ 酸漿喜枕

おがうく 直木帝範

すれが 厚直

おがうく 鷓鴣鳥

おがしり 白鷹

おがしり 棹檣架

まがもふ 真帆人

おがしり 帆半三ト云

ゆさうの衣 同遠衣

おがしり 炎焰火

ねがしり 可霞袖

おがしり 多

ねがしり 行巻額

おがしり 滞

ねがしり 無大氣

おがしり 通徹軸

ねがしり 調整

おがしり 匂芍

かひがしり 香匂薰

おがしり 珠威

しるがしり 比匂しり

おがしり 同濕露

しるがしり 耘

おがしり 標しり

あのがしり 雨細降

おがしり 凋袖

そがしり 滋ぬき

おがしり 顔

かさか 恒生かさ

おがしり 恠棍

かさか 白容

おがしり 相伊摩

かさか 直人

おがしり 依保姫

とひらのねと 融 右后

おはる月夜 朧月夜

ねがまのくは 関白宣旨

ねがやりの 公

そやりのひり 衣通姫

ねがら 祖文

ねがらきりまき 大舎人寮

ねがさきつさ 正親司

ねがらくきやう 大蔵省

ねがらやどが 大原小極

ねがらあぬ 大省直

当のりかりが 当守徳菴

ねがらまら 正親町

一三が三三が 八二八

ねがわらうのり 邑樂森

ねがらのらての 大津打お濱

ねがのりあが 稻荷入

あがみらら 大極満来

ねがの浦 極電浦

ねがのめ 酒保波

ねが 潮

いなかのぬり 伊高保沼

ねがうき 陰溷

ねがまののり 大徳浦

ねがかりん 大河巻

ねがのり 大樋門大井河

さかのうら 水保河原

みかゆさ 美保碕

とかのねり 三保松原

ひえのおがみ 比叡大山高

ねがら 大略

ねがいのあそん 大に朝長

ねが中とのら 大中臣姓

ねがまのらあぬ 大伴黒主

あらしのよか 大原言直

あらしのよか 大原言直

おはかりらる後

大願車おかりあ言大直比哥

いかり 香廬 草菴

くふいかり 國郡 氷凍

みか 後法禁中の 椰子抄

十口輪 倭和玉

のりい 野多葛 葛凡

こまいひ 早蕨 須磨浦輪

赤あて麻呂 鴉限輪 縁輪田井

白のうらまふじまて三輪組 抄若 伊海拍沈

えんまひし 難見分 髪

おこしあの 片端者頑者直のかま 車片輪

くぬま 鐵輪 ひまわりこ 橋破子

志道さ 為 倭事

志道ひぬ 仕徳米 稚 日本記漢

ひらあかり人 弱 我人 神中抄

あんなま 親王 みまのかま 三輪部

つらね 巨な 波

こつちま 戸直波直 辨弁

まろく 童部 松

りーのま 鶴嶺 若授園

みりまろく分箱
別

ワカ
ヨラズ

分
輪邊

十一は波えハヒキキ揚葉

よハ

い

磐岩

いハ

巖

い

窟窟

わん雲

沫電

わん

沫泡

おろろ

潦

おろ

燎

おは

在場

お

澤阜

少一のかりさ富士鳴澤

ひろさか

廣澤地

み

汀

な

曝所

す

酢梨

の

柏榭

い

岩戸

の

朴柏

か

榊

よ

横川

さ

麩

す

蕨

校

校

あ

玉

わ

栗

わ

栗

ぬ

尊

の

撻

か

繩

の

綆

あ

倭

の

歛

ひ

皮草立

ひ

既也

ひん

索麵

ひん

志

ひん

器

ひん

鞍

ひん

欵嗽

ひん

咄

ひん

障身礙

ひん

母孀

ひん

童

ひん

娘

ひん

瘰癧た傳在
かま有

ひん

淨河

ひん

後女

ひん

鹹

ひん

射斗飽

ひん

飽

ひん

幸福

ひん

灾禍

ひん

憐愍日本紀在

ひん

橈

ひん

阻

ひん

紀

ひん

交雜

ひん

障

ひん

雅

ひん

極

ひん

周章

ひん

障

ひん

燬

ひん

強

ひん

櫻箝
妻復

ひん

強

ひん

嚴守崇

ひん

柔

ひん

委

ひん

玉

玉

さやうから

爽正みづかや

かゝる

代替

をのころり

携

わくふなり

祖外そと取落

ふらふなり

卒尔頓とん成

ぬらふと

纏ちん

あふふと

歎表たふ病形びやうなりぬらふと

取廻

かゝらす

通

あはす

合并あひ洋勅

こゝろ

言語ごんご詞辞

こゝろ

理り處じょ断

まゝのり

企き跋

ぬらふれ

戲ぎぬらふれ

ひつりひええととぬらふ力ちからなりなり先不まづ漆し若わか力ちから

狂くるののああけけののあありりんんしし寝ね約やく食じき霜しも陰いん場ばう

少すくししううししとと不ふ祥しやう日ひ本ほん死しかかふふううははすす耳みみ後のち

かゝる

表ひょう書しよののいいふふふふ

祝いのち崇たか

ちやああ新あらた芽こゝろ義ぎをを破やぶ神かみよよううふふ

横よこ川がは

かゝる

廁せう園えん

ひらふふ

檜ひのき皮かわ造つく月つき

あつらふ

栗くり田でん口こう

わらわ

栗くり津つ野の

いっせのり

岩いわ漱しゆ森もり

こゝろやぬ

木き接せつ山さん

とこよふ

き盤ばん升しやう

とこよふ

善ぜん形がた河がは

あはす

十二月じふにがつ師し走そう

ひらふふ

枇ひ杷ぱ木き

うらせりうららうう河がは道みち遠とほ

十二 じ 武 無 元 人 舞 年

ひやまを 宜山 凡

ひやまを 宜武

ひく 宜 古今諸日本記
在し

ひく 宜水

ひのん 惟木

ひのん 仕舞

ひく玉のうろ 為母玉水 為珠玉雲 為珠玉くま 為珠玉

ゆくろじ 斬之 寝

ひりふ 柵

さむし 冬 海

ひまろ 生産 うまふた

ひのん 叨 あかき

ひく 祖母 うまふた

ひまら 生 得

ひまら 養育 甘襖

ひまら 縁 まこと

ひまら 為梅 梅干

ひまら 養 抱

ひまら 荊棘

ひく 部 子

ひく 牝馬 驛

ひれ 鱧 鱒 鮪

ひれ 馬衣 る 被

ひく 馬 駒

ひく 個人

ひく 馬 槽

ひく 驛 長

ひく 潭 洛

ひく 張 星

ひく 牧

ひく 厩

ひく 馬 蛇

ひく 馬 殿

ひく 馬 蛇

ひく 馬 殿

十三 卯 有得羽鶴

わびりかろ 澗

わびりし

澗海

みのし

瀧のりち

瀧内

かろふ

かろふ

法令

くろん

くろん

美草

のろ

のろ

梟

のろひん

のろ

鳩

のろ

のろ

黄牛

のろ

のろ

犢

のろ

のろ

豹

のろ

のろ

のろ

のろ

障子

のろ

のろ

鈍子

のろ

のろ

金具

のろ

のろ

蠟燭

のろ

のろ

銚石

のろ

のろ

剃刀

のろ

のろ

鏡鏡

のろ

のろ

方磬

のろ

のろ

陵王

廣陸敵名

われうしと 元貴 又権

冠被

なまひうしり玉兜

墨紙

あしやうしり假粧化粧

浮線綾衣

あしやうしり 緑初 緑遠

振衣

くはらあめい後直草色袴

倍泛

すまうのせらと相模前會

獵師

まきうしり 料紙

醫方阿翁

あしやうめ 姑

妹婦

とととや 弟

孝履

あしやうしり 楊枝

犢鼻禪

あしやうしり 襪子

舟一艘

あしやうしり 儲君

蘓枋

榊本のまきうしり 榊本大吏

御曹司

あしやうしり 大學

九河内所植

相人

文人擬生

附跡

高麗人

あしやうしり 矣

用途

あしやうしり 蒙被

但願願

あしやうしり 元徳月

葬

あしやうしり せり史記

むくひん 蠶

けいん 下習

くま 賢

まじり 善信

まひなり 名人

ふん 心教

ていせい 女水

まじり 設備

めいしん 寂煩

まじり 方愨

くま 嬉怡歡花

まじり 好

くま 碎石竹

まじり 温老子語

まじり 政勇政勇 駿懐

かめい 強

ひん 誰竹尖款

あや 危

あや 卒

あや 懶倦

あや 惣括

あや 細織

あや 衛

あや 擊を

あや 不當

あや 消息

あや 包丁

あや

あや 令法

かんあう

雛劫

らうろく

牢籠

あんなう

ん操

せいへう

聖廟

あうあい

苗英 苗高 袋うめん

苗胤

あうあや

道場

わうこ

擁護

あうらん

法文

みくろく

浄八講

あうわう

口難法 ながろく

荐養

あうらう

老老

たうと

奏

あうす

言申啓

せうす

忌

あう

牒 浄牒

せう

寮

あう

巧負

せう

烟子

あう

京宮除目

やらう

進催

あう

臘月

あう

後原殿

あう

多武峯

十四 六 不 多 多 ぬ 府 普 風 技

あう

夕曉

あう

長庚 大百星

あう

板月 欒の

あう

同月

あう

須繪

あう

船 廻浪

見らぬの浦のうらぬゆふ三慈野浦濱木綿

伴之 名 彦 伊勢 國 彦

いものこふ

蓬生

わあひ

葵葉雀

わいのまふ

蘆枯生

むらうらふふま葛草木

おふあひつら

江よりあふこ

わあち

標

こけふ

東傳りよの草

さあふ

株

めふ

和名一音歌

そのふ

園生苑生

うあは

栽植種

みそのふ

沖園生

ねふ

生

おふあふふふ

縫

けふふ

突人といふ

ふ

飼鳥天と養

ひふ

和名といふ

ふ

蚊針虫のり

かふ

扇扇箇姜あふ

沼障のり

こふ

胡蝶

ふ

蝶

あふ

比類

のふ

呪咀

かひ

蜻蛉 蛙 胡 劫 虫 源 氏 物 治 在

ふ

脂

うふ

占卜

あふ

振揮震

あふ

翔

あふ

湛

あふ

携列

あふ

惜持

うらふ

汁 藪 檉 松

あふ

從 縁 寛 誠

くふ

加

あふ

更衣

立

かふ

買りまき

きまふ

喻り辟言

たふふ

比し敷属

てわふ

盟じ澡

わふふ

洗濯せんたく浣せん滌てい

かふふ

金かね具ぐ

かふふ

懋まう依い圍ゐ

おさうふ

膽たん

ひろふ

拾しつ撫ぶ

こらふ

捕とら

きまふ

貯ちよ蓄ちく資し

まふ

漆しつ副ふ傍ぼう

たふふ

浪なみ跡あと知ち附つ

とりふ

捍たご

ちまふ

折せつ盟めい

ほくふ

療りょう

ほくふ

償ちか

ひまふ

辨べん

つふふ

拭ふ揮ひ結けつ

うまふ

敬けい恭こう

そふふ

弦せん害がい損そん

まふ

給たま賜たま湯ゆ

わふふ

與よ

のまふ

今いま宣のたま曰たま

かふふ

叶えつ稱せう合ごう

まふ

仕し事じ使し

ほくふ

番ばん

ほくふ

救きう筆ふで

まふふ

痛いた被ひ

かまふ

救きう筆ふで

まふふ

侍じ候こう

ひほくふ

救きう筆ふで

わふふ

争まが淨じやう

まふ

煖ぬる熱あつ

かふふ

剛ごう

まふ

彘し諾だく善ぜん

まふふ

伶れい傳でん

ほくふ

斃せつ子こ存ぞん

まふふ

擴くわく造ぞう

まふ

吟ぎん



屋ふ

屋

やすふ

能個

しうふ

呼喚

かふ

勾引今

かふぬ

習効字

まふ

咲笑同言

ふあふ

荷擔

よたふ

扱

わふたふ

和甘耐

りふ

囉舂餽

そたふ

酒具饌

しふ

慈患

かふふ

倒僵卧

かふ

敬祀并るの死

かふふ

痿地のあえ

かふ

教算

わらわ

振作

らふ

不教悖

かふふ

言軍裝

かふ

貴尊

わふ

西儀神

かふ

カカレがそふ徒布細布

ゆふ

舟幸舟昔

わふ

塵翳膾

ゆふふあのかひらり約遠かき通海

まふあのかや赤土小屋万葉

わふ

阿波隈門

わふあやま邊坂山

わふ

直江國

みふ

源順 哀作志

祝子百歳

祝祠

まふ

息

とふらのみはる九河内祈

植

三條西殿

前右大臣公條所與書

寫本云

此一冊小僧紙也。以較多之宋本考勘之而研。
謬有之先哲言。擬書以庶。後凡業隨。
掃植有之。可俟後君子而已。

天文廿一重陽前日記之。稱名野釋。亦判。



以乃改仁保色也
念利奴奴在如
子太礼曾少和
官尤字為入於久
也未針不七四
其花貴中女夏之
惠比毛世寸



